



米本 隆記 議員

公約実現の予算付けは

町長 優先順位を考え提案している

【米本】町長の任期はあと1年数カ月。この任期中に取り組まれる本町の将来像があると思う。

選挙公約がすべて満足いくようになるとは思わないが、その実現に向けた予算執行が必要ではないか。町長が言う「集中と選択」がいま必要である。

平成28年度予算編成にあたり選挙公約の実現は。

【町長】めざす将来像は、「大山の恵み」という豊かな財産を生かし、



将来に向けた予算はなに

安心して暮らせる、そして住み続けたいにぎわいのある元気な町である。選挙公約には「みんなで作る未来の大山町」

「子育てしやすく、若者定住、教育文化度の高い町」「多様な資源を活かす町」「人にやさしく安全安心に暮らせる町」「財政的に安定し持続する町」の5つの柱を掲げている。

しかし、予算には限りがあり、必要性・緊急性を考慮して優先順位の高いものを議案として提案している。

地域自主組織の最終目的は

町長 住民主体での地域づくりである

【米本】かあら山に始まって6つの自主組織が誕生した。地域の活性化にとって重要な組織だと思う。

しかし、いつまでも町が面倒をみる事には限りがある。地域自主組織の最終目的はなにか。

【町長】地域自主組織には、これからの担い手の発掘や教育、支え合い活動を通じた集落機能の補完、集落間の交流の促進などの役割も期待している。

最終目標は、各地区内の特性や特質をふまえた住民主体での地域づくりの推進である。そして、現在町が行っ



地域活動の拠点となりつつある「まぶや」

ている公共的な業務の中で可能なものを担っていただきたい。

また、生涯学習やコミュニティ活動など、町と連携した地域づくりの取り組みである。

【町長】平成29年度からは運営費の上限を200万円とする。